

ともに生きる子どもの育成・・・心豊かでたくましく

鯖江市河和田小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	1回
地域及び家庭への学校公開	(のべ) 12回

(2) 地域人材の活用 (のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	32人
授業ボランティア (含: 低ボラ)	10人
登下校支援ボランティア	85人
その他 (図書ボランティア)	8人

(3) 特色ある活動

テーマ「ふるさと教育」

具体的活動内容

春には地域ボランティアの協力もいただき、地元の殿上山登山を全校で行った。自然を感じながら地域の方との触れ合いや縦割り班による異学年での交流も図ることができた。

秋には30年近く継続している「蒔絵教室」を地元の越前漆器作り手グループの軒下工房の方やPTAに協力いただき実施している。児童の親の代から続いている伝統行事で、地元の産業を体験できるすばらしい事業となっている。また、漆器関係者からは後継者育成の効果があると喜ばれている。さらに児童と保護者、地域が触れ合う行事として11回目の実施となった「ふれあいオープンスクール」を実施。「昔遊びと紙芝居」「ネイチャークラフト」「太鼓の達人」など13種目のコーナーを設け、地域の達人による指導で児童が地域の歴史や自然・伝統文化などを体験できる活動となっている。

「4年生合宿通学」も公民館や地域の方、関係団体などの協力で地域と連携した実のある活動であった。地元の公民館に宿泊し、ラポーゼかわだでの入浴、中山公園での天体観測、早朝の野鳥観察、地元スーパーでの買い物など多くの地域ボランティアとの触れ合いだけでなく、地元の施設や自然などに接するすばらしい機会となった。

クラブ活動では、年間を通して野鳥クラブ、狂言クラブを作り、地域の方の指導で自然や文化とも触れ合う機会を設けている。緑の少年団も組織し、地元での植樹祭に参加したり募金活動に取り組んだりしている。

また、地域の各種団体から学校への協力依頼があるときには、積極的に参加するよう児童に呼びかけるなど地域との連携を図っている。



成果と課題

学校と地域との委員が協働して地域の自然・文化・歴史にふれる児童の学習活動を推進することができた。この取組を今後も継続するとともに、内容をさらに実のあるものに改善していきたいと考えている。